

[ホーム](#) > [市民レポーター](#) > **東部ふれあい朝市**

東部ふれあい朝市

朝市が、東部地域センターで初めて開かれました。小雨交じりの5月23日の朝、10時。Nさんが雨男だからなあ、まだまだ修行が足りないかあ・・・なんて冗談を言いながら、広場へ出てみたらご覧の通り



待ってましたとばかり、ご近所さんが集まりました。わあ、こんなに沢山来てくれたの・・・

センター長の松本さんもほっとしたことでしょう。

東部地域センターは、大門町の集合住宅に囲まれた中心にあって、東久留米駅東口から徒歩10分、路線バスも通っていて交通は至極便利なところである。

それかあらぬか、日用品や食材の買い物は意外と不便である。近くに商店街はあるが歩くには、やや遠い。朝市はこの不便を解消しようというスタッフの発想から始まった。近くの生産者たちにお願ひし、地場産を扱うことにした。



今日はキュウリはなかったけれど、キュウリが欲しければ申し訳ないけれどほかの店で買って下さい、ここはあくまで地場産で、しかも旬のものしかありませんよという朝市・・・生産者の10年来の経験から始まった・・・門前、新川、東本町の生産者の方々です。

朝市の究極の目的は「ふれあい」です。野菜や花卉のほかに地域のみんさんが創っていただいた手作りのパンやクッキー、お菓子など、「みんなの朝市」、「みんなで創るふれあいの朝市」になったらいいと思っていますと松本さん。・・・素晴らしいことです。是非々々続けてもらいたいものです。

次回は6月27日10時からです。皆さん期待して待って下さい。

東部地域センターでは、他のセンターにないイベントとして、「ウォーキング」と「赤ちゃんの部屋」があります。

ウォーキングは、年四回、地域の実行委員会で運営されています。3年続いているそうです。ただ歩くだけでなく何かを学習することにねらいを置いているそうです。

【ウォーキング風景 東大農場へ】



「**はっぴーmamaの赤ちゃんの部屋**」は一昨年からはスタートし、毎月一回、1歳半までの赤ちゃんともママが自由に過ごせるフリースペースです。

多い時には20組の親子が利用したそうですから、少子化の時代とは思えませんね。ママ友づくりのきっかけを作るふれあいの場です。

はっぴーmama！ 全員集合！！

ウォーキングといい、赤ちゃんの部屋といい、地域のセンターとしての本来の機能を十分に発揮していただいています。これからも期待しています。

市民記者 りきムーナ